



# いろは呑龍新聞

2020年(令和2年)6月号  
第54号

いろは呑龍トンネルに貯めた水を桂川へ放流するポンプ場を造っています。

## 仮設設備の解体

呑龍ポンプ場の現場では、令和2年4月7日に沈下掘削が完了したため、沈下に必要であった仮設設備の解体を始め、5月には中央のタワークレーンを残して排土キャリア、マンロック、マテリアルロックの撤去を完了しました。

これらの仮設設備は、令和元年6月3日に地下作業室への圧気開始に合わせて設置し、沈下掘削完了まで連日使用していたもので、約10ヶ月の設置期間を終え、仮設設備を撤去した現場は平面的な外観に様変わりしました。

現場の象徴だった巨大な仮設設備がなくなって寂しいけどすっきりしてきたね。



3月上旬



4月下旬



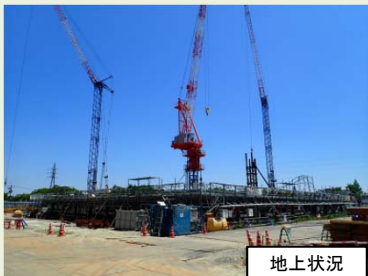
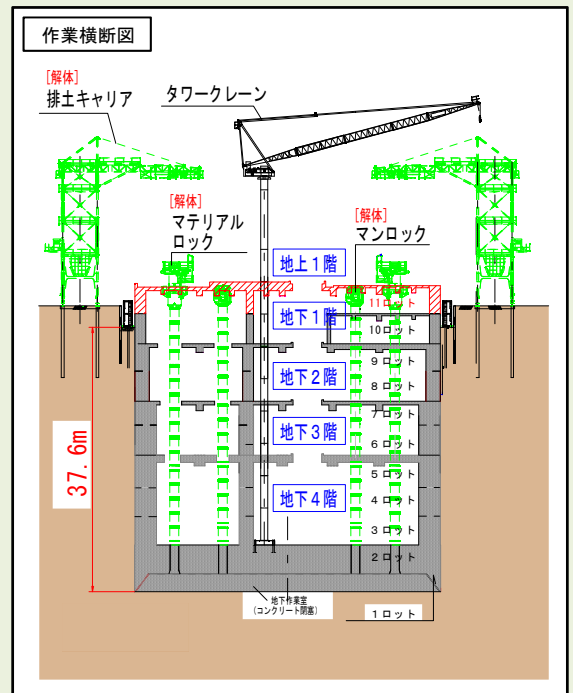
5月下旬

## 11ロットの構築

仮設設備の解体後、工事現場では、ポンプ場躯体の最後のコンクリート打設となる11ロット目の構築を開始しました。

ポンプ場は全11ロットに分割しており、鉄筋組立て→型枠組立て→コンクリート打設を繰り返して1ロットずつ構築してきましたが、最後の11ロットは仮設設備の撤去後、建築物となる地上1階の床部分を構築する作業となります。

コンクリートの打設は7月上旬を予定しており、現在は柱、床の鉄筋、型枠の構築作業を進めると共に、同時並行で地下部分の階段や床の仕上げコンクリートの打設等、最終仕上げに向けての作業を進めています。



地上状況



地上1階 鉄筋組立て完了



地下 階段打設完了



地下4階 場内状況



見に来てね!



いろは呑龍新聞  
バックナンバーはこちらから  
<http://www.pref.kyoto.jp/ryuiki/donryu.html>